



次世代を担う 子どもたちを育成する 教育のプロになる。

Faculty of Education

教育学部

共同教員養成課程（仮称 設置申請中）

▶ 小中連携教育コース

▶ 教育支援探究コース

〈 特別支援教育の
カリキュラムを強化 〉

学校教育課程 小中連携教育コース

西井 優里 大分県 大分雄城台高等学校出身

田中 胡桃 熊本県 専修大学玉名高等学校出身

吉田 廉次郎 佐賀県 佐賀西高等学校出身

長瀬 未佳 福岡県 門司学園高等学校出身

〈 学部 の 特色 〉

教育学部では、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的な視点から見据えながら、現代社会の変化に伴う教育課題に応えることができる教員の育成を目指しています。特に、近年増加している特別支援を必要とする子どもや児童生徒の教育への需要にも対応できるカリキュラムを実施しています。

●「小中連携教育コース」では、小・中学校の9年間を一体的に捉え、義務教育期間全体を見据えて教育実践を行える能力を持った教員を養成します。児童期から思春期にかけての心身の発達過程や各教科の内容をふまえ、一人ひとりの学習意欲を高めながら着実な理解や達成の積み重ねへと導き、学力向上を実現することのできる指導・支援のあり方を学修します。専攻は「小学校教育主免専攻」と「中学校教育主免専攻」の2つです。

●「教育支援探究コース」では、子どもの生活・発達・学習について、心理・教育・保育、特別支援教育の視点から専門的知識や技能を学びます。また、これらの知識や技能をもとに子どものニーズや課題を把握できる教員を養成します。専攻は「発達支援専攻」と「特別支援教育専攻」の2つです。

■ 教育目的

教育学部では、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的かつ連続的な視点から見据えながら、現代社会の変化に伴うさまざまな教育課題に応えることができる学校教員の養成を目的としています。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



目まぐるしく変化する社会の中で 学び、成長し続けていける教員になりたい。

高校生の時に「教師へのとびら」に参加し、本学の雰囲気や教育に対する姿勢・考え方を知り「ここで学びたい」と思うようになりました。今は、中高における保健体育の授業づくりについて学んでいます。模擬授業ができる授業が好きで、友だちと模擬授業を相互に受けることで自分では考えられなかった視点や工夫を知ることができ、それが自分の授業力向上につながっていると実感しています。教育実習に取り組み、女子サッカー部で活動し、友人たちと学生生活を送る中で、自分のことだけでなく多くの人や物事を考えられるようになったことも大きな成長だと思います。将来は、保健体育の教員を志望しています。

学校教育課程 小中連携教育コース
古賀 颯花 佐賀県 神埼高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます

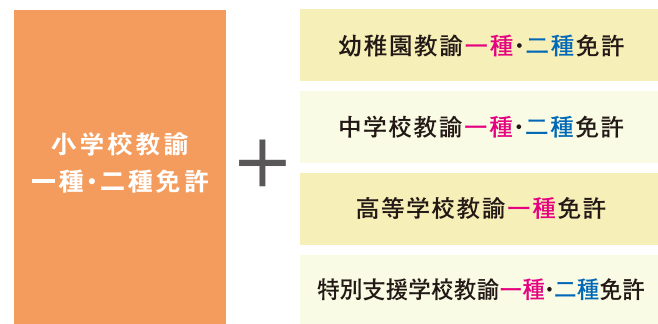


教育学部
サガつく
ポイント複数免許の取得で広がる
教育者としての幅広い可能性01 幼小・小中連携教育を実現する
複数免許の取得をサポート

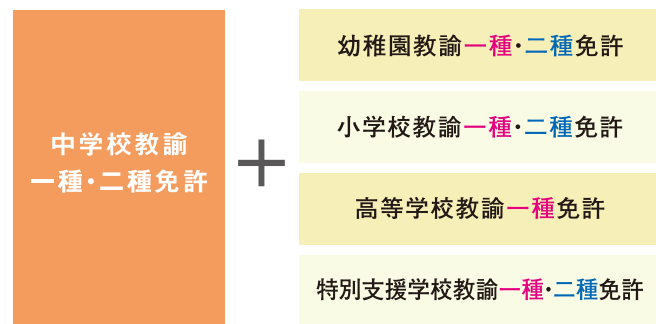
教育学部ではどのコースを選んでも「幼稚園教諭」「小学校教諭」「中学校教諭」「高等学校教諭」「特別支援学校教諭」から複数の免許取得が可能です。「幼稚園教諭」と「小学校教諭」のダブルライセンスや、小中一貫教育に携わるために「小学校教諭」「中学校教諭」を組み合わせるなど、目指す将来に必要な資格を在学中に取得できます。



小学校教諭免許とその他の免許の取得例



中学校教諭免許とその他の免許の取得例



◎ 幼・小・中・高校は教科・科目の免許が取得可能

「保育士」の資格取得には、国家試験の受験が必要です。

教科教育に重点を置き、各教科の学びを深めて専門知識と技能を身に付けます。小学校での英語教育に対応して、英語にも力を入れています。

全校種
対応

取得可能な中学・高校の免許科目一覧



◎ 特別支援学校教諭の免許取得も充実

(教職大学院への進学→修了で専修免許も取得可能)

特別支援学校の教員になるためには、教諭免許状のほかに「特別支援学校教諭免許」が必要となります。教育支援探究コースでは、子どもの生活・発達・学習について、心理・教育・保育、特別支援教育の視点から専門的知識を学び、免許取得をサポートします。特別支援教育にも強い教員を目指します。



丁寧なサポート体制

高い能力を備えた教育者を育成する充実の環境

現場で教える教科内容を
「質の高い授業」で学習

レベルの高い研究業績を持つ教員による、教科教育・教科内容で学びを深めます。学校教員になるための「質の高い授業」によって、教育現場で活用できる知識・技能を身に付けます。

理論と実践、どちらも
高いレベルで修得可能

教育学部から教職大学院まで「6年間の教員養成」を見据えた学修が可能。また、佐賀県公立学校教員採用選考試験においては、一般・教職教養試験免除制度※が新設されました。

※教職大学院修了後の専修免許状所有者(見込み含)対象

学部教員が一丸となって
試験対策を丁寧に指導

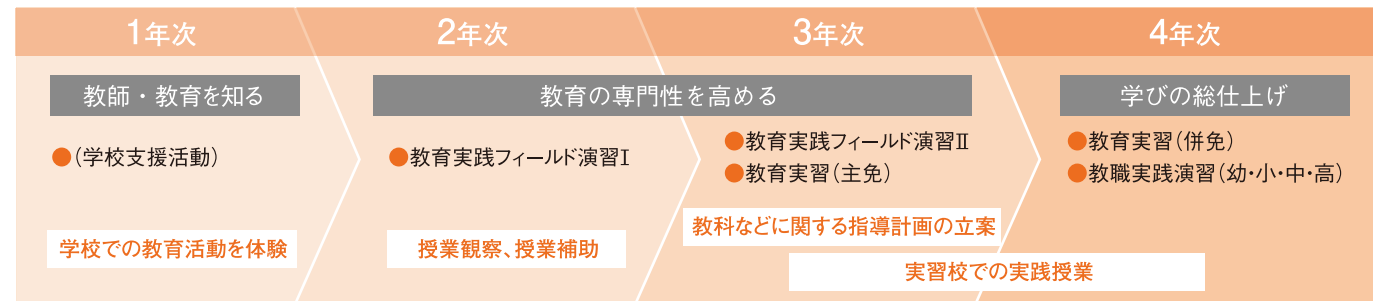
教員採用試験対策は、学部教員全員による丁寧な2次試験対策を中心とした指導を実施。過去問題の提供や実技指導など綿密な支援策で、合格への実力を積み上げていきます。

02 1年次から学校現場、3年次から教育実習へ、
実践経験を積むフィールド演習

学内での講義のほかに体験学習をバランスよく組み合わせて、早い段階から教育現場での経験を積み、社会に出たときに即戦力として輝ける力を身に付けます。



[4年間の教育実習のイメージ]



※本表に記載の開講科目、配当年次等に関しては全て予定であり、内容には変更があり得ます。

附属学校での実習

教育学部には、一人ひとりの個性と能力を生かす教育の場である4つの附属学校(園)があります。教員を目指す学生が教育実習を行うのもこれらの施設です。



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



附属特別支援学校

03 ICTを活用した模擬授業の実施や
地域との連携を通して現場が求める教員を育成

小学校での英語教育や今後増加が見込まれるICTなど、教育現場を取り巻く環境にいち早く対応するために、佐賀大学では英語力とICTに力を入れています。電子黒板やタブレット型端末機器などの設備を充実させ、高度なICT機器による模擬授業を行える環境を整備。GIGAスクール構想に強い教員を目指しています。また、地域と連携して教育の現場の情報を随時収集し、教育の現場でどのような教員が求められているかを把握することで、即戦力となる人材を育成します。

たくさんの学びや経験を積み重ね
多方面から子どもたちの成長を支えられる教員に。

私は佐賀県内の小学校で、国語、算数、社会、理科など幅広い教科の勉強を教えています。教育学部で、授業のやり方や子どもの行動の見取り方など多方面で学んだことがちゃんと役立っていると感じています。今でも時々「もっと勉強しておけばよかった」と思う事もあるので、今勉強中の学生たちは在学中にたくさん学んでほしいと思います。また学生時代には、Green-Nexusという団体に所属し、子どもたちや地域の方に向けたイベントを企画・運営していました。講義との両立は大変でしたがとても充実し、その時の経験も今に活かしています。将来は、子どもたちの成長を様々な面からサポートできる教員になりたいと思っています。そのためには社会人になってからも学び続ける姿勢が大切だと感じ、毎朝読書をして知識を深める、長期休暇には旅行に行くなど、多くのことを経験するように心がけています。



吉野ヶ里町立三田川小学校 勤務
西坂 修弥さん
教育学部 学校教育課程 小中連携教育コース
2021年3月卒業

【業務内容】
勉強のほか、給食や掃除、友だちとの関わりなど、子どもたちの成長を日々サポート。



詳細情報はこちら

複数の教員免許を取得し
学習面でも生活面でも
生徒に寄り添える中学校教員に



中学校だけでなく小学校や高校の教員免許も取得したかったので、複数の免許取得が可能な本コースを選択しました。今は社会科に所属し、地理や歴史、倫理学などの学びを深めつつ、生徒指導に必要な知識や教育法を学んでいます。4週間の教育実習では、生徒への生活指導の大変さや、授業作りの難しさを体験する一方で、子どもの成長に一番近くで関わることのやりがいも強く感じました。また、以前は人前で話すことが苦手でしたが、授業で人と意見交換し、発表する機会が増えたことで、落ち着けるようになりました。それも、自分にとっての大きな成長です。将来は、社会科を学ぶ意義や楽しさを伝えられるような指導力を身につけ、子どもの心や日々の成長に寄り添って支援できるような中学校教員になりたいと考えています。

学校教育課程 小中連携教育コース
仁科 有理 福岡県 筑紫丘高等学校出身

1 学びの特色

解決に取り組める人になる

教員としての責任を自覚し、学校教育をめぐる今日的な課題の解決に真摯な姿勢で取り組むことができる力を育成します。

2 学びの特色

個人に応じた教育を行える人になる

児童生徒の発達についての確かな理解を持ち、保護者や地域と手を携えながら、一人ひとりの心身の状態に応じた教育を展開できる力を育成します。

3 学びの特色

児童生徒の知的好奇心に応える人になる

児童生徒の知的好奇心に応えると共に、学修内容の確かな理解へと導くことができる力を育成します。

専攻の特徴

初等教育と中等教育を一体として捉えた特色ある教育を行います。「小学校教育主免専攻」では、児童の発達段階に応じた学級経営や各教科の教育スキルを幅広く学修します。「中学校教育主免専攻」では、各教科への深い造詣と生徒の発達段階に応じた授業構築を学修します。

卒業と同時に取得できる教育教員免許状

専攻	幼I	幼II	小I	小II	中I	中II	高I	特支I
小学校教育主免	▲	▲	◎	▲	▲	◎	▲	▲
中学校教育主免	▲	▲	▲	◎	◎	▲	▲	▲

I：一種免許
II：二種免許
◎：卒業要件(必須)
▲：選択取得可能

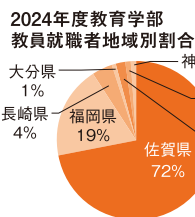
主な進路

〈就職先〉

- 佐賀県内ならびに九州各県の公立小学校、中学校、公立・私立高等学校、特別支援学校、幼稚園
- そのほか、公務員(自治体)、一般企業(情報・金融・広告等)

〈進学先〉

- 佐賀大学大学院学校教育学専攻科(教職大学院)



カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報リテラシー」			
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
		インターフェース科目			
専門教育科目	小学校主免専攻	【専攻の科目】(国語科の場合) ●書写 ●書道I ●書道II ●書道史 【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等国語 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語 ●初等国語指導法I-II ●初等音楽指導法I-II ●教育原理A(理念及び思想) ●教育原理B(歴史・制度) ●教職入門	【専攻の科目】(国語科の場合) ●国語学概説I ●国語学概説II ●国文学概説 ●漢文学概説I ●中等国語指導法I ●中等国語指導法II 【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●初等図画工作 ●初等体育 ●初等算数指導法I-II ●初等外国語指導法I-II ●LD等学習指導法 ●幼小連携・小中連携教育論 など	【専攻の科目】(国語科の場合) ●国語学演習II ●国文学演習III ●国文学演習IV ●漢文学演習III ●中等国語指導法III ●中等国語指導法IV 【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等社会科指導法I-II ●初等理科指導法I-II ●初等図画工作科指導法I-II など	【専攻の科目】(国語科の場合) ●国語学演習III ●卒業研究 など
	中学校主免専攻	●(学校支援活動)	●教育実践フィールド演習I	●教育実践フィールド演習II ●教育実習(主免)	●教育実習(併免) ●教職実践演習(幼・小・中・高)
	中学校主免専攻	【専攻の科目】(理科の場合) ●基礎物理学A・B ●基礎化学A・B ●基礎生物学A ●基礎地学 【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等国語 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語 ●初等国語指導法I-II ●初等音楽指導法I-II ●教育原理A(理念及び思想) ●教育原理B(歴史・制度) ●教職入門 ●現代の教育と社会A ●現代の教育と社会B ●教育心理学A(学習) ●教育心理学B(発達) など	【専攻の科目】(理科の場合) ●化学概論II ●地学概論II ●基礎物理学実験 ●基礎化学実験 ●基礎生物学実験 ●基礎地学実験 ●中等理科指導法I ●中等理科指導法II 【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●初等図画工作 ●初等体育 ●初等算数指導法I-II ●初等外国語指導法I-II ●LD等学習指導法 ●幼小連携・小中連携教育論 など	【専攻の科目】(理科の場合) ●エネルギー科学 ●物理化学 ●生命科学 ●地球科学 ●中等理科指導法III ●中等理科指導法IV 【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等社会科指導法I-II ●初等理科指導法I-II ●初等図画工作科指導法I-II など	【専攻の科目】(理科の場合) ●卒業研究 など

※本表に記載の開講科目、配当年次等に関しては全て予定であり、内容には変更があり得ます。

授業紹介

初等数学



クイズやパズルに潜む算数・数学を通して、物事を考える習慣を身につけ、思考力や発想力を養います。また数学が日常生活の中でどのように役立っているかについて紹介します。

初等外国語教育法



第二言語習得や外国語指導法に関する諸理論や授業実践の諸問題についての基礎的な知識を獲得し、コミュニケーション能力を養う英語指導の実践力を修得します。

化学実験



理科の実験風景の1コマです。写真は化学領域です。少数での実験です。知識及び技能の習得・確認を行うとともに、未知の事象に遭遇した時の思考力、判断力を訓練します。

研究室・ゼミ紹介

体育心理学

山津 幸司 教授

本講義の学習を通して、小学校の体育や中学・高等学校の保健体育の教師として「体育授業」「運動部活動」の指導場面で心理学の知見を応用できるようになることを目指します。運動・スポーツをより効果的、効率的かつ継続的に実践していくには、身体的側面のみならず心理学的な諸理論の理解が不可欠です。特に運動学習や運動・スポーツに対するモチベーション、スポーツメンタルトレーニングを学習します。

国語科授業論

達富 洋二 教授

国語科教育は、言葉を操作することだけを目的にしているのではなく、言葉の獲得(習得)と活用(習熟)を往還しながら、生涯にわたって言葉を学び続け、言葉を通して人間関係をひらいていけるようになることを目指しています。子どもが一人でも言葉を操作できるように、そして操作できるようになったことをつないで役立つように生かし、言葉の学び手として成長し続けるように教えることが教師の仕事です。教師として必要な「教えること」について丁寧に学んでいきます。

ピアノ演奏学

石川 美也子 准教授



ピアノの作品を通して、楽曲解析により考察力を養い、客観的な思考や演奏表現のための身体の使い方を学びます。創造力を高め、効果的に表現へ変換する演奏技能を習得します

卒業生の主な卒業論文テーマ

- ◎算数教育における子供のつまずきを減らすための指導法について
- ◎「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす音楽科の授業づくりに関する研究
- ◎小学校体育授業と道徳教育についての研究
- ◎雄野温泉の降水による水質変化
- ◎小学校家庭科における包丁を使った食品の切り方についての映像教材の開発
- ◎小学校外国語教育におけるCLIL(内容言語統合型学習)の実現可能性についての考察
- ◎小学校国語科における「書く力」を育成する言語活動の研究
- ◎社会参画としての学力を育成する学習環境デザインの研究
- ◎人工知能(AI)初學者向けの教材開発
- ◎発達段階に応じた性の多様性(LGBTQ)に関する教育の研究
- ◎小学校の教科教育におけるICT機器の活用について

教員紹介

【言語・社会系グループ】

国語	達富 洋二 教授 国語科授業論	中里 理子 教授 日本語学
書道	藤木 香江 准教授 書道	
社会	岡本 託 教授 西洋史	後藤 正英 教授 倫理学・思想史
地理学	黒田 圭介 准教授 地理学	吉岡 剛彦 教授 基礎法学
英語	木原 誠 教授 英米・英語国文学	吉村 圭 准教授 英米・英語国文学
英語	吉村 圭 准教授 英米・英語国文学	ジョナサン・モクソン 准教授 英語コミュニケーション
英語	林 裕子 准教授 外国語教育学	

【理数系グループ】

数学	川中子 正 教授 解析学	橋本 貴弘 准教授 幾何学	大林 将典 講師 数学教育学
物理学	靖 正勝 教授 動物生理学	岡島 俊哉 教授 有機化学	角緑 進 教授 火山学・岩石学
物理学	中村 聡 教授 理論物理学	高島 千鶴 准教授 地球科学	
技術	小野 文慈 教授 機械工学	和久屋 寛 教授 電子情報工学	

【実技系グループ】

音楽	今井 治人 教授 指揮	荒巻 治美 教授 音楽科教育学	石川 美也子 准教授 ピアノ
音楽	小村 朋代 特任講師 声楽		
体育	井上 伸一 教授 スポーツ科学	坂元 康成 教授 スポーツ科学	山津 幸司 教授 体育心理学・健康行動学
体育	町田 正直 准教授 体育科学・運動生理学	堤 公一 准教授 保健体育科教育学	大石 寛 助教 公衆衛生学・運動医学
家庭科	澤島 智明 教授 生活学	中西 雪夫 教授 家庭科教育学	萱島 知子 准教授 食生活学
家庭科	小松 美和子 准教授 衣生活学		



詳細情報はこちら

演習や実習で学んだことは多い
失敗を恐れずに経験を積み
いずれは地域の子育て支援を



小さい頃から幼稚園の先生に漠然と憧れていましたが、子どもの成長をサポートするためなら努力できると直感し、教育学部への進学を決めました。佐賀大学の教育学部は、フィールド演習や保育観察実習など現場を体験する機会が十分に設けられています。実際に教育現場で働く先生方のお話を聞く機会も多く、教職への興味やモチベーションが高まりました。大学での学びや教育実習を通して、自分がやりたいことが少しずつ明確になり、将来像もかなり具体的にいったと思います。時には失敗もありましたが、「失敗は成長につながる」と学んだことで、チャレンジ精神も身につきました。将来は子どもたちに寄り添い、自らの力で進んでいけるように援助できる存在になりたいと思います。

学校教育課程 幼小連携教育コース
中原 梨宝 佐賀県 鳥栖高等学校出身

学びの特色

1

解決に取り組める人になる

教員としての責任と使命を持ち、学校教育をめぐる今日的な課題の解決に取り組むことができる力量を育成します。

学びの特色

2

子どもを支援できる人になる

子どもの発達についての確かな理解を持ち、子ども一人ひとりの状態に応じた支援を展開できる力量を育成します。

学びの特色

3

子どもを支えられる人になる

保護者や家庭など子どもの生活と関わる他者と連携し、子どもの育ちを支える役割を担うことができる力量を育成します。

専攻の特徴

「発達支援専攻」では、子どもの発達を心理学、保育・幼児教育学、教育学の観点から包括的に理解する力を育みます。「特別支援教育専攻」では、特別な教育的ニーズを持つ子どもに対して適切な教育的支援を行える能力を育てます。

卒業と同時に取得できる教育教員免許状

アス 教育支援探究	専攻	幼I	幼II	小I	小II	中I	中II	高I	特支I
発達支援	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲
特別支援教育	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	◎

I：一種免許
II：二種免許
◎：卒業要件(必須)
▲：選択取得可能

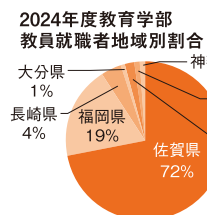
主な進路

〈就職先〉

- 佐賀県内ならびに九州各県の公立小学校、中学校、公立・私立高等学校、特別支援学校、幼稚園
- そのほか、公務員(自治体)、一般企業(情報・金融・広告等)

〈進学先〉

- 佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)
- 長崎大学大学院教育学研究科(教職大学院)



カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報リテラシー」			
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
		インターフェース科目			
専門教育科目	発達支援専攻	【専攻の科目】 ●幼児と人間関係 ●幼児と環境 ●幼児と言葉 ●幼児と表現I ●保育内容(環境) ●保育内容(人間関係) ●保育内容(言葉) ●保育内容(表現II) ●幼児教育と保育の原理 ●特別支援教育基礎論	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等国語 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語 ●初等国語科指導法I-II ●初等音楽科指導法I-II ●教育原理A(理念及び思想) ●教育原理B(歴史・制度) ●教職入門 ●現代の教育と社会A ●現代の教育と社会B ●教育心理学A(学習) ●教育心理学B(発達) など	【専攻の科目】 ●幼児と健康 ●幼児と表現II ●保育内容(健康) 【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●保育内容(表現II) ●発達心理学 ●初等図画工作 ●初等体育 ●初等算数科指導法I-II ●初等外国語指導法I-II ●LD等学習指導法 ●幼小連携・小中連携教育論 など	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等社会科指導法I-II ●初等理科指導法I-II ●初等図画工作科指導法I-II など
		●(学校支援活動)	●教育実践フィールド演習I	●教育実践フィールド演習II ●教育実習(主免)	●教育実習(併免) ●教育実践演習(幼・小・中・高)
		【専攻の科目】 ●特別支援教育基礎論 ●肢体不自由児の心理・生理・病理 ●肢体不自由児教育総論 ●知的障害児教育総論 ●視覚障害児の心理・生理・病理	【専攻の科目】 ●知的障害児の心理・生理・病理 ●病弱児指導法 ●病弱児の心理・生理・病理 ●発達障害児心理学 ●肢体不自由児指導法 ●重複障害児教育総論 ●病弱児教育総論	【専攻の科目】 ●知的障害児指導法 ●知的障害児アセスメント論 ●発達障害児脳科学論 ●聴覚障害児の心理・生理・病理	【専攻の科目】 ●キフティッド・2E教育論 ●卒業研究 など
		【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等国語 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語 ●初等国語科指導法I-II ●初等音楽科指導法I-II ●教育原理A(理念及び思想) ●教育原理B(歴史・制度) ●教職入門	【教職・教科(小学校)の科目】 ●現代の教育と社会A ●現代の教育と社会B ●教育心理学A(学習) ●教育心理学B(発達) など	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●初等図画工作 ●初等体育 ●初等算数科指導法I-II ●初等外国語指導法I-II ●LD等学習指導法 ●幼小連携・小中連携教育論 など	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等社会科指導法I-II ●初等理科指導法I-II ●初等図画工作科指導法I-II など

※本表に記載の開講科目、配当年次等に関しては全て予定であり、内容には変更があり得ます。

授業紹介

保育内容(表現II)



幼児教育や保育の実践で行われる造形活動について、模範的な体験を行いながら、その意義や、有効な造形素材・技法を学びます。

幼小連携教育研究

幼小発達教育専攻では、教育学・心理学・造形教育から問題意識の設定や深め方を理解し、探求したいテーマと研究方法について考えていきます。特別支援教育専攻では、アンケート調査や心理学実験の演習や特別支援学校の児童生徒との関わりから、実態や支援方法について考えを深めていきます。教員全員がオムニバスで授業を行います。

障害児心理学



障害の種類と障害の特性、障害に伴う心理的影響や問題等を把握するとともに、障害特性に応じた支援のあり方に関する基本的事項を学びます。

研究室・ゼミ紹介

特別支援教育

芳野 正昭 教授



ゼミ生各自が興味・関心のあるテーマ(障害児支援、交流および共同学習、きょうだい児支援等)を決めて卒業研究に取り組み、障害児の理解と支援に関して研鑽を積んでいきます。

心理学

石井 宏祐 准教授



教育現場の今日的課題について、心理学的方法を用いて実証的に検証します。学生たちは不登校やいじめ、心の病などをテーマに研究に取り組んでいます。

幼児教育(造形)

栗山 裕至 教授

造形実践を主内容に、幼児教育の理論や方法、課題や可能性について具体的に研究します。幼児・児童について深く理解し、柔軟な発想を持った教員を目指します。

教育学

成松 美枝 准教授

小1プロブレムや幼児の保育と母親の子育てなど、子どもの教育について多様な問題をテーマに取り上げ、学生の興味・関心にそって卒業論文を作成しています。

卒業生の主な卒業論文テーマ

- アプローチカリキュラムにおける歳児の片づけ
- 幼小連携における小学校教諭の指導要録の活用について
- 地域との連携における学習機会の考察
- 小学生における学習動機付けと学業適応との関連
- 特別支援学校における知的障害児への性教育のあり方
- 発達障害・知的障害の子どもを持つ家族の思いと支援のあり方
- 保護者へのインタビュー調査を通じて
- 保育と自然体験についての考察
- 親子の情緒的支援の方向性が親子の親密さおよび子の自尊感情に与える影響
- 自己表現の観点から見る人間関係を高める幼児教育
- 長崎県の離島教育の現状と可能性—新上五島町の教育実践に着目して—

教員紹介

教育学・学校教育

成松 美枝 教授 足立 佳菜 准教授
教育制度 道德教育

名倉 一美 准教授
保育学

特別支援教育

芳野 正昭 教授 日高 茂暢 准教授
特別支援教育 特別支援教育

中村 理美 講師
特別支援教育

図画工作

栗山 裕至 教授
造形教育

附属教育実践総合センター

石井 宏祐 教授 松信 尚子 准教授
臨床心理学 義務教育・教師教育